

させぼ夢大学

発行●公益社団法人 させぼ夢大学
編集委員会
事務局／〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545
https://www.yumedai.com/
E-mail:sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.333 <2024・1>

令和5年度
第10回

2024年 1月11日(木)

アルカスSASEBO 大ホール

開場 17:30

夢のひろば 18:00

講演 18:30(終了20:00)

令和5年度の最後を飾る、第10回講演会の講師は、柔道史上初、全競技を通じてアジア人初となるオリンピック3連覇を成し遂げた野村忠宏さんです。

野村さんは、奈良県出身。柔道一家に育ち、3歳から柔道を始め、その後、天理中学・高校・大学と進学し、柔道の道を進めました。

「野村の柔道」は、理にかなった動きで相手を倒し、攻め抜く柔道です。得意技は「背負い投げ」で、抜群の切れ、スピード、天性の守りのカンが天才的と称されています。

幾度となく怪我と手術を受けながら、1%でも可能性があるならば、チャレンジを続けたいと努力を惜しみませんでした。ある記者会見の中で、「長い人生を振り返った時、弱か



った時代の方が長かった。開花するまでの長い時間を諦めないで、自分を信じてきたからこそ、今がある。」と話されています。

現在は、医学博士、名城大学薬学部特任教授等を務める他、自身がプロデュースする柔道教室「野村道場」を開催する等、国内外にて柔道の普及活動を展開。また、テレビでのキャスターやコメンテーターとしても活躍。自身の柔道経験をもとに講演活動も多数行っておられます。

野村さんが、どのようにプレッシャーと戦い、怪我を乗り越え、大舞台で勝つことができたのか。講演会では、その奥深い「折れない心」を話していただけることでしょう。

皆様、どうぞご期待ください。

のむら ただひろ

講師●柔道家 **野村 忠宏氏**

テーマ●折れない心



次回のご案内

■と き／4月18日(木) 18:30～20:00

■講師／筑波大学名誉教授 **中村 逸郎氏**

■テーマ／ロシアの間とは何か
～激動の国際情勢～

●鳥根県生まれ。日本の国際政治学者。専門研究分野は、現代ロシア政治、日ロ関係。2022年4月から鳥根県立大学客員教授、5月から筑波大学名誉教授となる。

著書として、「シベリア最深紀行 知られざる大地への七つの旅」「ロシアを決して信じるな」など多数ある。

1月の講演会は第2木曜日です。

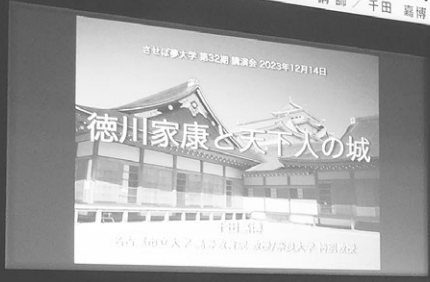
野村 忠宏 氏のプロフィール

●奈良県出身。祖父は柔道場「豊徳館 野村柔道場」、父は天理高校柔道部元監督という柔道一家に育つ。アトランタ、シドニー、アテネオリンピックで柔道史上初、また全競技を通じてアジア人初となるオリンピック3連覇を達成する。その後、度重なる怪我と闘いながら現役を続行したが、2015年の全日本実業柔道個人選手権大会を最後に40歳で引退。現在は、名城大学薬学部特任教授で、国内外で柔道の普及活動を展開している。



させぼ夢大学講演会

徳川家康と天下人の城
講師 / 千田 嘉博 氏



千田 嘉博 氏

戦う城から政治の城へ
徳保市八王子丞町・松井 昭夫

私は千田嘉博さんを、「心の師」と勝手に思っている。山登りをする私は、千田さんの「お城を語る楽しさ」に魅入られ、「小谷城」を歩いたことがある。この山城で育った浅井三姉妹は眼下に見える虎御前山や琵琶湖をどんな思いで眺めたのだろうか、と思いつつ城跡を歩いたのが想い出深い。

講演内容は「城跡から歴史を考える」ことであり、「戦う城から象徴の城へと変わっていったこと」を証明することだった。「家康は信長・秀吉から石垣と天守の城づくりを、信玄・勝頼からは馬だしを学び、最強の城づくりを目指した。しかし、最終的には平和な時代に政治拠点として機能する城を選択していった」と、様々な史料で説明をされた。これが千田さんが語る「城跡を考古学的な遺跡として調べる」方法であったのか。納得である。お話を伺って、城郭考古学の研究方法の意義と魅力が理解できた。さらに、信長や秀吉・家康像が大きく変わったことに感謝したい。

全国には3〜4万ほどの山城が眠っているという。「日本百名城」も手元にある。まずは、縄張図を片手に、気に入る城を選ぶことから再スタートだ。またまた千田さんに背中を押されてしまった。

1/11(木)の講演会当日、会場にて受付!

1. 来年度の受講申込みがお済みでない方は、1月の講演会で、申込みをさせていただきます。定員は2000人です。
2. 12月の講演会で、すでに申込み済の方は、今回申込みの必要はありません。
3. 申込書は、**④夫婦・家族用**と、**⑥個人またはグループ用**があります。いずれか一方で申込みください。**申込みはお一人1枚とし、両方で申込みの場合は、一方を無効とします。**
4. **学生番号は、必ずご記入ください。**
5. 申込書は、事前に記入し、ご持参ください。**早割!!** 12月及び1月の講演会当日に申込まれ、コンピュータによる「一括抽選」で当選された方は、**年間受講料：個人またはグループ 1人 20,000円→19,000円(税込) 夫婦・家族(同居の方) 1人 19,000円→18,000円(税込)**
※グループ申込みは、郵便物をそれぞれのご住所へお送りします。
※一般受付(新聞等のはがきによる申込み)期間 1/12金~1/31水必着 一般の早割は、1/24水必着まで

ご注意ください

A 夫婦・家族学生(同居の方)用 申込書

郵便番号		TEL ()	
住所			
学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
① 氏名		男・女	歳
学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
② 氏名		男・女	歳
学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
③ 氏名		男・女	歳

申込書は、コピー使用可 ※個人情報は厳重にお取り扱いいたします。

B 個人 または グループ学生(2~3名)用

※個人でお申し込みの方は、①欄にご記入ください。
※グループでお申し込みの方は、①~③欄にご記入ください。

個人学生記入欄

学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
① 氏名		男・女	歳
住所	〒 - TEL () -		

グループ学生記入欄 (①~③にご記入ください)

学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
② 氏名		男・女	歳
住所	〒 - TEL () -		

学生番号	005	性別	年齢
フリガナ			
③ 氏名		男・女	歳
住所	〒 - TEL () -		

申込書は、コピー使用可 ※個人情報は厳重にお取り扱いいたします。

学生専用 令和6年度・第33期受講申込書

夢のひろば

◆日時／1月11日(木) 午後6時～6時20分

◆演目／チアバトン・ダンス

◆出演／佐世保商業高等学校
バトントワリング部

◆出演団体紹介

私たちバトントワリング部は、1年生13人、2年生16人、3年生16人、合計45人の部員です。練習は、主にバトントワリングとダンスが中心です。バトントワリングは、外部より先生が来られ、月2・3回のレッスンを受けています。ダンスは、自分たちで選曲からダンスまでのすべてを行っていて、HIPHOP、K-POP、ジャズ、チアなど、幅広いジャンルに挑戦しています。地域のイベントやバトンコンテストにも出場しています。

◆演目紹介

今回のステージは、1・2年生29人で出場します。チアダンスを中心に、全体で踊ったり、学年ごと・チームごとに分かれて踊ったりするなど、様々なダンスパフォーマンスを披露します。



12月夢のひろば「佐世保の子どもによる“地産地笑”の創作落語
橋高 佑弥「落語の稽古」 古川 万葉「眠れない夜」

歴史を読み解く お城の達人！

城への憧れ

長崎市小江町 岩崎 章子

私の知る限り、長崎市には城がありません。「出島」の存在が、大きく関わっていたのかもしれない。ただ、歴史を習う時、長崎には、他所から来て活躍した方々の名前が、すごいものがあります。が、誰も城を建ててはいないので、それが影響しているの

か、私はどこか城のある都市に憧れをもっていました。

今回、NHKの歴史番組で馴染みが深い千田嘉博さんが講師であったため、とても楽しみにしていました。天下人も最初は、築城に関しては素人でしたが、敵から技術を学び、自己流に改革を続けました。家康も、最後には平安の世のための名古屋城を建築し

ますが、「尾張(終わり)名古屋は城でもつ」の意味が、突

然わかった気がしました。それにしても、千田さんも話されていましたが、「夢のひろば」に出演された二人の中学生の落語の上手なこと。感心しきりでした。思えば、忠臣蔵の討入りの日の有意義な一日でした。ありがとうございました。

失われた世界へのタイムトラベル

北松浦郡佐々町 法本 安子

折紙ツリーが飾られた今年最後の夢大学。今回の講師、千田嘉博氏は、お城のスペシャリストとして、豊富な知識に裏付けられた軽妙な語り口から、多くのファンと高い知名度をもっておられます。信長が建てた安土城に始まり、姫路城・大阪城・名古屋など、信長や秀吉・家康が躍動していた時代に建造されている日本の数々の城。歴史を考える時、時代によって捉え方も変わっていくものだと認識しました。石垣や天守の形の違いも意味があり、その背景にある歴史を読み解いていくお城の達人ならではの熱い気持ちも伝わってきました。CGやVRのデジタル技術で復元された、失われた世界へのタイムトラベル。知らないことを知るのには楽しく、幾つとだど改めて思いました。「老いてなお まだまだ学ぶことがあり」

城跡から読み解く面白さ

佐世保市大和町 新北 博美

今回の講師、千田嘉博さんは、テレビ等でお城やその時代について、とても興味深く検証されているのをよく拝見します。「お城」というと天守閣を見がちですが、石垣や城跡・地形からと、多方面から歴史を読み解いていくことがよくわかりました。因らずも大河ドラマでは、家康の最終回でした。その後の江戸時代は約250年間、戦がない時代で、多くの文化も花開きました。戦争は、文化を壊してしまい、豊かな物を何も産まないということが、今まさに世界中で起こっている各地の争いを見るとよくわかります。抜きん出て戦の強い独裁的な一人ではなく、領土・人民をきちんと統治する「政治」を行う社会にした人が、家康だったとわかりました。城跡から、その人となり、政治までも読み解く面白さ。そういう目でお城旅行に行ってみようと思いまし



■夢のひろばの「佐世保かっちえて落語会」の中学2年生の二人は、見事な落語で、楽しく聴かせてもらいました。

また、楽しみにしていた千田さんのお話は、お城愛がいっぱいで歴史はおもしろいとしみじみ思いました。本当に各地に行き、自分の目でお城を見てみたいになりました。来年のラインアップの発表があり、合格できることを願っています。

佐世保市大宮町●田中 美禰

■「夢のひろば」は、中学生とは思えないほどの笑える落語でした。

また、スライドを使い、楽しそうにお城のつくりを説明された千田さん。本当にお城が大好きなんですね。足軽役でテレビに出たいとも言われ、笑いを誘いました。これからも、いろいろなお城の謎を紹介してください。楽しみにしています。

佐世保市木風町●西 照美

■家康の築城法は、味方は勿論、敵方のよい所をも取り込んだ築城であったということ。このことは、築城に限らず、万事言えること。

私生活においても、他と協調しながら豊かに生きる人生を、今後も続けたいと思います。

佐世保市東浜町●池田 ヨシ子

■夢のひろばの「佐世保かっちえて落語会」の中学生を久しぶりに見ましたが、大きく上手になっているのに感動です。

千田さんのお城のお話、とても楽しかったです。テレビで名城10選等、お話が楽しく、興味深く見えています。石垣一つの積み方にしても、昔の石工の方たちの技術が素晴らしいですね。時間が足りないくらいでした。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■千田さんのお話は、緻密な内容で教科書のようなでした。清須城を築いた信長の戦乱の世から、家康の天下人としての安寧の世に至るまでの様々な時代。武将たちが切磋琢磨して思い描いてきた時代そのものが、「城」という形で現代に残っているのだなと感じました。

佐世保市小島町●高増 香里

■千田嘉博氏の天守・城の講義は、大学の授業を受けているみたいで、若やぎ、心躍るものでした。感謝！

佐世保市春日町●有吉 成子

九十九島

ふもやま話

10

俵ヶ浦半島

しはた 柴田 てるたか 昭隆

が浮かぶ風光明媚な九十九島湾ができた。半島を挟んで性格の異なる地形が出来上がったのである。

太古の昔、佐世保湾は佐世保市より西海橋方面まで広がる盆地であった。盆地には佐世保川と日宇川が流れ込み、盆地の中央で一つになって湾口まで峡谷をつくって流れていた。

日本列島が出来上がるころ、地形はダイナミックに変化した。盆地に海水が侵入して現在の佐世保湾が出来たのである。一方、現在の俵ヶ浦半島を含む佐世保湾の西側一帯は将冠岳・弓張岳などを頂点とするなどらかな台地であったのだが、その台地にも海水が侵入して現在の九十九島の風景ができた。

学術用語でいう「溺れ谷（おぼれたに）」により、俵ヶ浦半島の東側は港として最適な深い海域を持つ佐世保湾となり、西側には多くの島

が浮かぶ風光明媚な九十九島湾ができた。半島を挟んで性格の異なる地形が出来上がったのである。俵ヶ浦半島の船越町には、九十九島湾と佐世保湾との距離がわずかに約五〇〇メートルで海抜三メートルの地帯がある。現在は佐世保湾側が米軍基地であるため両湾を歩いて行き来することはできないが、かつては文字通り船を担いで九十九島湾と佐世保湾を往復していた。木造の漁船であれば数人で担ぎ陸地を運ぶことが出来る。船で半島をぐるりと大回りするより陸地を横切の方が時間も労力も節約できた。

「溺れ谷」への海水の侵入があと五メートル高かったら俵ヶ浦半島は島になっていたのである。地形の成り立ちには「もし〇〇だったら」のドラマが潜んでいる。船から眺める九十九島の風景は申し分なく美しい。それに加えて九十九島湾を抱くように伸びている俵ヶ浦半島の小高い丘からの眺めも素晴らしい。俵ヶ浦半島には九十九島を眺めるのに絶好のビューポイントがいくつもある。湾に一番間近な船越展望所は道路に面しているの

気軽立ち寄ることが出来る。石岳展望台は駐車場から一〇分ほど山道を登らなければならぬが、夕日を眺めるのに絶好の場所である。ここは鹿児島県出水市で越冬してシベリアへ帰る鶴の観察地でもある。展海峰展望台からは松浦島が眼下に見えて佐世保湾も見渡せる。二〇二一年にできた九十九島観光公園からは、九十九島の島々と湾の対岸の全貌が見渡せる。このように九十九島は、海と陸の両方から美しい景色を楽しむことが出来る。そこで思うのだが、新しくできた九十九島観光公園には、佐世保の市木であるハナミズキを植えてその名所にしたらどうだろうか。



九十九島観光公園

事務局だより

★来年度の受講申込みは、お済みでしょうか？

皆様、左の表をご覧ください。令和6年度の講演会予定一覧です。政治や健康・音楽・スポーツ・芸能等、幅広いジャンルの著名人をお招きし、来年度も充実した講演会を開催する予定です。

前回の「夢のつづき」では、「交渉中」が4つあったのですが、今回は「交渉中」がすべてとれ、講師全員から承諾の返事をいただきました。一般受付は、1月の講演会の次の日、1月12日(金)から。その日の新聞に、折込みチラシが入ることになります。

す。したがって、現在の受講生には、一般受付より早めに講師陣をお知らせし、早めに受講申込み受付を行っていることとなります。

ホームページやQRコードによる申込みは、一般受付開始の1月12日(金)から。また、早割価格による受付は、1月24日(水)まで。最終受付を1月31日(水)までとしていますので、まだの方は早めに申込みください。

「感動」を！
「発見」を！
再び皆様に「感動」と「発見」をご提供します!!

令和6年4月に、また皆様と笑顔でお会いできることを楽しみにしています。
(募集定員を超えた場合には、一括抽選をします。ご容赦ください。)

令和6年度(第33期)講演会予定

令和6年	中村 逸郎氏 (筑波大学名誉教授)
4月18日(木) 18:30~20:00	『ロシアの闇とは何か ~激動の国際情勢~』
5月15日(水) 18:30~20:00	黒川 伊保子氏 (感性リサーチ社長) 『人生に効く脳科学 ~脳が創り出す男女のミゾ、人生の波~』
6月20日(木) 18:30~20:00	茂山 千五郎氏 (狂言師) 『「狂言」という名のお芝居』
7月18日(木) 18:30~20:00	安藤 和津氏 (エッセイスト・コメンテーター) 『明日を素敵に生きるには』
8月22日(木) 18:30~20:00	和田 秀樹氏 (精神科医) 『からだの健康 こころの健康』
9月19日(木) 18:30~20:00	大八木 弘明氏 (駒澤大学陸上競技部総監督) 『育てて活かして勝つ ~覚悟と挑戦~』
10月17日(木) 18:30~20:00	若狭 勝氏 (弁護士) 『これで分かったうそを見抜く力、見破る力』
11月21日(木) 18:30~20:00	加藤 登紀子氏 (歌手) 『加藤登紀子トーク&ライブ「百万本のバラ」』
12月19日(木) 18:30~20:00	杉本 昌隆氏 (将棋棋士・八段) 『師匠が語る「弟子・藤井聡太」という才能』
令和7年	デヴィ・スカルノ氏 (国際文化人)
1月16日(木) 18:30~20:00	『人生のモチベーション』